

令和7年度 山形県鶴峰園 地域連携推進会議

日時：令和7年8月7日（木）

午前11時から

場所：鶴峰園 小食堂

- 1 開会
- 2 園長挨拶
- 3 構成員・施設職員の紹介  
（委嘱状交付）
- 4 協議
  - （1）施設等・地域の連携
  - （2）施設等やサービスの透明性・質の確保
  - （3）利用者の権利擁護について
- 5 その他（意見交換）
- 6 閉会

令和7年度（事業所名）地域連携推進会議 出席者

<構成員>

	所属・職名等
1	利用者家族
2	地域関係者
3	福祉関係者
4	利用者代表
5	利用者代表

<事業所>

1	鶴峰園 園長
2	鶴峰園 副園長
3	鶴峰園サービス管理責任者
4	鶴峰園援助主査（リーダー）

第1回山形県鶴峰園地域連携推進会議 会議録

日 時	令和7年8月7日（木）11：00～
場 所	鶴峰園 小食堂
参 加 者	別紙名簿参照
1 開会	
2 園長挨拶	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域連携推進会議については、障害者施設の運営が外部から見えづらいという課題があり、今年度から義務化された会議となる。利用者と地域との関係性作りや、地域関係者への理解推進が目的であることを説明した。</li><li>・利用者の皆様が安全で安心できる環境やサービス及び多職種が連携し日々支援している施設を知っていただく貴重な機会であるため、さらなるサービス向上のため忌憚のないご意見をいただけるようお願いする。会議終了後に施設見学、夏祭りへの参加をお願いする。</li><li>・かるむの里について、総合施設かるむの里事業概要に沿って説明する。</li></ul>
3 構成員・施設職員の紹介	<p>構成員に委嘱状を交付した。（任期：令和9年3月31日まで）</p> <p>本日、利用者代表1名が体調不良にて欠席であることを伝える。</p>
4 協議	<p>（1）施設等・地域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の障害状況について 入所者40名、平均年齢は65.5歳で、30代から70歳以上まで幅広い年齢層の方が利用しているが、高齢化が進行している。 身体障害に加え、知的障害や精神障害の利用者が増加しており、医療的ケアが必要な利用者も増加傾向である。</li></ul>

- ・建設当初は、2階から自宅を見られているような気がするといった苦情があり、目隠しなどの対策を行ったが、現在は特に苦情はない。垣根の木が伸びて迷惑をかけないように剪定しており、鶴峰園に直接的な苦情はない。

- ・施設、地域行事について

コロナ禍で地域との交流は制限されていたが、今後は地域の方々に施設を知ってもらう機会を設ける予定。

地区で開催される大山犬祭りは、山車や、子供神輿は施設の敷地内に入ってもらい見学している。職員が昨年度から大山犬祭りに参加させてもらっている。

防災面で、消防団との連携を検討している。

## (2) 施設等やサービスの透明性・質の確保

- ・経営状況の報告について

令和6年度事業報告、令和7年度事業計画について説明する。

- ・BCP（業務継続計画）の策定状況について

令和6年4月から義務化となった。感染症と自然災害に対する計画を策定し、研修・訓練を各年4回実施している。垂直避難を含む避難訓練も実施済み。

- ・自己評価について

年1回の自己評価を実施し、支援の質を確認している。

- ・利用者の日常生活の様子について

入所前から通っていた事業所への通所や、リハビリ、気分転換のための活動など、希望に応じて施設内外での活動を組み合わせている。

生産活動として、紙工作業を実施している。その他、カラオケや外出など余暇活動も提供している。

個人の趣味や自由時間も確保し、テレビ視聴やゲーム、午睡など自由に過ごせる環境を提供している。

## (3) 利用者の権利擁護について

- ・虐待防止について

年度初めに職員が「権利に関する誓約書」に署名捺印し掲示している。

月1回の福祉倫理委員会を開催し、身体拘束・虐待防止について話し合う機会を設けている。また、虐待防止チェックリストを活用し、職員の意識向上を図っている。

第三者による月1回の苦情相談会を実施しているが、利用者より「苦情相談という名前から、相談しづらい。」との話があり、名前を「おしゃべりクラブ」に変更し、利用者の声を聴く機会を設定している。言葉づかいで不快な思いをさせたことがあり、研修を行っている。

年1回の第三者評価を実施しており、第三者評価（有識者等）、サービス評価（施設職員等）により、サービス提供や運営状況を確認してもらっている。

- ・ヒヤリハット、事故報告について。

ヒヤリハットと事故は、医療機関の受診の有無で区別している。

ヒヤリハットは施設内部での検証、事故報告は法人及び県に報告している。

令和6年度は事故報告5件（内訳：けが4件、誤薬1件）、ヒヤリハット31件（転落14件、転倒14件、熱傷1件、所在不明1件、その他1件）となっている。

令和7年度は、薬の飲みこぼし、飲み残し、内服前にこぼすなどの服薬ミスが多い。入所利用者の高齢化・重度化により、様々な場面で介助が必要な利用者が多くなっている。

短期入所利用の方については、月1回利用の方もおり、職員、利用者ともに慣れない部分もあるため職員2名で服薬確認をしている。

- ・支援者の様子

多職種で連携しながら支援を行っている。

- ・利用者の意思決定支援、意向確認等について

個別支援計画書に基づいて支援を行っている。聴覚障害がある方や、声かけでの理解が難しい方には、絵や文字など理解しやすい方法でコミュニケーションをとっている。

地域移行については1名希望している方がいる。高齢化等により、施設での生活を続けたいという方が多い。

## 5 その他（意見交換）

### 福祉関係者

- ・全体的にきちんとされている印象がある。BCPなどの研修を受講できなかった職員にはどうしているのか。

鶴峰園…研修については全体で実施しており、受講できなかった職員は後日、資料や動画等を各自視聴している。

### 地域関係者

- ・災害時などの避難所が鶴岡第五中学校とのことだが、避難場所に避難しても、一般の方々と同じ空間では大変だと思う。訓練で2階に垂直避難を行った話があったが、その方が現実的に思う。訓練を継続して、有事にそなえてもらいたい。

### 家族代表

- ・入所当初は落ち着かなかった息子も、職員のみなさんのおかげで今は落ち着いており感謝している。入所後の様子もこまめに連絡をいただき、安心することができた。今では歌をうたい、笑顔もみられ、面会に来るたび衣類等も清潔に保たれている。適切なケアを受けていることにありがたく思っている。

### 利用者代表

- ・職員の細やかな気配りや対応に安心感を得ている。今後もずっと、鶴峰園で生活したい。

## 6 閉会

会議終了後に、施設内の見学及び夏祭りに参加していただいた。